

授業科目	子どもの理解と援助				単位	1		
履 修	選択	関連資格	保育士		ナンバリング	WE21610J		
開講年次	3	開講時期	前期	該当DP	DP2-1 DP3-2 DP5-2			
担当教員	上村 眞生							
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】</p> <p>保育者が保育を計画・実施する際、子どもの発達を含む現状をより正確に把握することは必要不可欠である。そこで本講義では、保育所保育としての実務経験を踏まえ、子ども理解のための基礎的な理論及びアセスメントのあり方を概説し、援助方法について解説する。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<p>1 保育実践において、子ども一人ひとりの心身の発達を把握することの意義を理解し、説明できる。</p> <p>2 様々な体験や学びの過程において子どもを理解する視点について説明できる。</p> <p>3 観察、記録、省察、評価など子どもを理解する方法を知り、実践できる。</p> <p>4 子どもの理解に基づく発達援助の方法を説明できる。</p>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	0	30	70	0	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)				10	30		40	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)				10	10		20	
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)				10	30		40	
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
<ul style="list-style-type: none"> ・保育実践において、子ども一人ひとりの心身の発達を把握することの意義を理解し、自分の言葉で説明できる。 ・様々な体験や学びの過程において子どもを理解する視点について複数説明できる。 ・観察、記録、省察、評価など子どもを理解する方法を複数知り、実践できる。 ・子どもの理解に基づく発達援助の方法を様々な観点から説明できる。 				<ul style="list-style-type: none"> ・保育実践において、子ども一人ひとりの心身の発達を把握することの意義を理解し、説明できる。 ・様々な体験や学びの過程において子どもを理解する視点について説明できる。 ・観察、記録、省察、評価など子どもを理解する方法を知り、実践できる。 ・子どもの理解に基づく発達援助の方法を説明できる。 				
授業計画								

進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	オリエンテーション 子ども観についての概説	講義	授業内容を振り返っておくこと	60
2	幼児理解の必要性について 保育をする上で幼児を理解するとはどういうことかを解説する	講義	授業内容を振り返っておくこと 発表準備	120
3	アセスメントについて 幼児を理解する上でのアセスメントの重要性について解説する	講義	授業内容を振り返っておくこと 発表準備	120
4	発達についての基礎理論1 発達論について、グループで発表する(Aグループ)	発表	発表内容の振り返り	120
5	発達についての基礎理論1 発達論について、グループで発表する(Bグループ)	発表	発表内容の振り返り	120
6	発達についての基礎理論1 発達論について、グループで発表する(Cグループ)	発表	発表内容の振り返り	120
7	アセスメントの方法1 幼児のアセスメント法について解説する(発達検査)	講義	授業内容を振り返って課題をしておくこと	120
8	アセスメントの方法2 幼児のアセスメント法について解説する(観察記録1)	講義	授業内容を振り返って課題をしておくこと	120
9	アセスメントの方法3 幼児のアセスメント法について解説する(観察記録2)	講義	授業内容を振り返って課題をしておくこと	120
10	アセスメントの方法4 幼児のアセスメント法について解説する(観察記録3)	講義	授業内容を振り返って課題をしておくこと	120
11	幼児の発達の実際1 幼児の行動観察の方法を解説し、演習する	講義 演習	授業内容を振り返って課題をしておくこと	120
12	幼児の発達の実際2 幼児の行動観察を行い、観察記録を作成する	講義 演習	授業内容を振り返って課題をしておくこと	120
13	幼児の発達の実際3 観察記録を通して、幼児の行動・思考を分析する	講義 演習	授業内容を振り返って課題をしておくこと	120
14	幼児の発達の実際4 観察記録を通して、幼児の行動・思考を分析する	講義 演習	授業内容を振り返って課題をしておくこと	60
15	半期の振り返りとまとめ	講義・演習	半期間の振り返りをしておく	60
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				

23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	保育原理や保育の心理学等で学修した内容を振り返っておくこと			
テキスト	なし			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	授業中に配布する			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	日常生活の中で起こった出来事や自身の考えを言語化する練習をしておくこと			
達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法	発表30% 記録ノート70%			

